

LSS 流動化処理土製造事業の展開

中村建設株式会社 環境事業部 平田昌宏

〒430-0904 静岡県浜松市中区中沢町71番23号

TEL053-471-3421

URL<http://www.eco-nakaken.com>

建設残土や汚泥の再利用を目的とした“LSS 流動化処理土製造事業”に取組み約18年が経過しました。静岡県内を中心に公共工事や民間建築工事、ライフライン事業者へと顧客の用途開発に応じながら展開してまいりました。更に県内5箇所の製造拠点を配し、地域的な売上変動にも対処できるよう、又建設汚泥の中間処理施設としてさらなる幅広い顧客開拓のために日々研鑽してまいりました。



本拠地「LSS 浜松プラント」建設汚泥の中間処理施設を兼ねる



静岡県内における砕石工場内の残渣式LSS製造施設「LSS 静岡」



同じく砕石工場内の残渣式方式「LSS 掛川」

製造コストの削減と品質安定のために考案し特許取得した“残渣式LSS 流動化処理土”により、多額の設備投資を必要としない製造方法も確立し定着化しつつあります。これが功を奏して広域な事業展開の足掛かりとなっています。最近では東北震災復興事業としての一環で試験施工を兼ねて住宅跡地の廃止下水道管への充填閉塞工事を実施しました。小規模対応・水中打設・再掘削・充填性などの要求項目に対して効果が期待できる、ということが採用理由となりました。

東北地方においてはコンクリート用細骨材の増産に伴い製造工程より発生する泥水の処理に苦慮する事業所が目立ち、沿岸被災地では流動化処理土の原料となる建設残土も不足気味という現実があります。“残渣式LSS 流動化処理土”は砕石工場の泥を主原料とすることから、地産地消のリサイクル効果や、人手不足対応、工期短縮などのメリットも合わせて期待できます。

宮城県・福島県においては数箇所の製造拠点を確保しており、地元の建設業者の方と共同で工法の普及に努めたいと考えています。



福島県相馬に仮設したLSS相馬出荷設備で、ここより泥水を現場に搬出する。



少量の場合は現場において固化材スラリーを製造し、泥水と混合して流動化処理土を製造打設する。